

先日、大場情報委員長からメールが入っており内容はIP NEWS VOL.26の件でした。何かなお思い内容を見てもみますと原稿担当者ページ4に賛助会員紹介えねい建設？？？なんじゃこりゃ〜と・・・有難い依頼ですので今回は昨年OPENしました当社の体感ハウスのご紹介をさせていただきます。

葵区麻機南、山のふもとにひっそりとたたずむ真っ黒い家、近所の方からは忍者屋敷と呼ばれております当社体感ハウス「匠ノ棲家」！！看板ひとつ無いこの建物ですが週末にはたくさんの方がお見えになります。その理由は当社のお勧めします「外断熱工法」に有ります。その前に皆さん外断熱工法ってご存知ですか？これを話すと予定の800字では足りませんので、簡単に説明しますと板状の断熱材を柱外部から貼り開口部には樹脂サッシを使用し全てのジョイント部分に気密性の高いテープを張ると言うごくごく単純な工法なのです。しかしこの工法が一部のマニアの方には絶大な支援を得ておりまして・・・（＾＾）

本題に入ります。社内的にはこの工法の名前はSDⅡと言いまして私はスタイル&デザインと言っておりますが実の所、Sが外・Dが断熱・Ⅱは二重通気となっています。この二重通気とはまた優れもので、まずひとつ目の通気は壁の外壁と断熱材の間に2cm程の隙間と屋根の下地板と断熱材の間の5cm程の隙間が有り、基礎上の水切り上から入った外気が上昇気流に乗り外壁の裏側を上がり屋根材の下を上がり棟換気から出て行く事により、夏場は暑くなった外壁・屋根材の温度を建物内部に熱伝導させないのです。またふたつ目の通気は基礎の床下換気口が開閉式で、冬は閉める事により室内を保温し、夏は開放する事により床下から入った風を小屋裏の夏専用の換気扇により排熱し壁内部を換気して熱のよどみを作らない仕組みになっています。なかなかいい家ですよあっ！！会社紹介を忘れていました〜けど「そんなの関係ねえ〜オッパッピー〜」



インテリアプランナーの仕事場-1 ～ A F. BLDG

アトリエ・F 大場 房夫

今回発行分より、IPの仕事場（自宅）のインテリアを紹介するコーナーを設けました。初回は情報委員長大場が担当致します。静岡市内の幹線道路沿いに位置する、築9年程の鉄骨造3階建の設計事務所兼自宅です。主な空間構成は1階南道路側を駐車場、ピロティより建物中央部エントランスへ、奥側を設計室、駐車場上を中2階風のデザインルーム（打合せ室）とし、吹抜が空間に変化と連続性を与えるよう計画した。



①中庭に面するエントランス部分は、無垢材玄関扉、壁は無塗装の米松構造用合板、腰壁RC打放しのカウンター等で構成している。集成材を曲線状に加工した手摺の鉄骨階段で中2階のデザインルームへ続く。この部分のコンセプトは「ゆとり」「開放感」ローコスト素材を中心に構成し、仕上げ及び造作の一部はDIY施工した。②・③大きな桧無垢材のテーブルを中央に配し、サンプル、建築模型類を見せる収納としている。照明器具は、フロアスタンドなど複数の器具を使用している。ベースカラーはシンプルな色彩とし、内外共原色系の「赤、青」をポイントカラーとした。④事務所内部には何故か多数の招き猫（170以上、更に住宅部分にも200以上）が生息している。特にトイレ内部には90体程の猫グッズがあり招き猫密度が非常に高い場所である。毎回ここへ宝くじを保存しているが、未だ高額当選は皆無である。